

四国横断自動車道 勝浦川渡河橋の整備に関する環境保全検討委員会 (第1回)

勝浦川及びその周辺における今後の調査方針



平成27年10月15日

- 今後の調査予定(平成27年度内)は、以下のとおりです。
- 実施済みの今年度調査結果及び概略地形変化解析結果並びに検討委員会でのご意見等を踏まえ、適宜調査計画を見直しながら事前調査を継続して参ります。

表 今後の調査予定 (平成27年度内)

調査項目	調査時期	調査内容
鳥類	1月	①飛翔状況調査、②生息状況調査 ③委員意見を踏まえた追加調査
植物	10月	①植物相調査 ②委員意見を踏まえた追加調査
魚類・底生生物	10月	①潮下帯生物調査、②潮間帯生物調査 ③付着生物調査、④遊泳生物調査 ⑤概略地形変化解析結果を踏まえた追加調査

2.勝浦川及びその周辺における今後の調査方針(鳥類)

平成27年度の調査内容(鳥類)

<調査目的>

・勝浦川渡河部周辺の鳥類の生息状況及び飛翔経路の把握を目的とする。

<調査内容>

・春の渡り時期(4月・5月)、秋の渡り時期(9月)、越冬時期(1月)に以下の内容の調査を実施する。
調査日は、基本的に吉野川の調査日と合わせて実施する。

<とりまとめ・評価方法>

・計画路線周辺における鳥類の生息状況及び飛翔状況(高度・ルート等)等を整理し、事業による影響(橋梁設置に伴う移動障害)について渡河部周辺での飛翔状況の割合を整理し、評価する。

①飛翔状況調査

・双眼鏡や望遠鏡、レーザー測量器を用いて、計画路線上を通過する鳥類の種類、個体数、飛翔位置・高度を観察・記録する。(干潮前後に実施)

②生息状況調査

・双眼鏡や望遠鏡を用いて、鳥類の種類、個体数、行動内容(採餌・休息等)、移動方向、ねぐらの有無、干潟の出現状況を観察・記録する。(干潮前後に実施)

・4-5月調査結果及び委員意見を踏まえて、9月調査より以下の調査を追加実施する。

③追加調査

・貯木場付近におけるシギ・チドリ類の動向の把握
・勝浦浜橋周辺及びその上流側における鳥類の生息状況の把握
・渡河部上流側の干潟周辺をねぐらとしている鳥類の生息状況及び飛翔方向の把握
(日出前後と日没前後の夜間調査)

3.勝浦川及びその周辺における今後の調査方針（植物）

平成27年度の調査内容（植物）

<調査目的>

- ・事業地周辺における最新の植物相の把握を目的とする。

<調査内容>

- ①4月（早春季）、6月（春季）、8月（夏季）、10月（秋季）にそれぞれ植物相調査を実施する。
 - ・4月、6月調査結果及び委員意見を踏まえて、8月調査より以下の調査を追加実施する。
- ②塩生湿地に生育する希少種を対象に勝浦浜橋まで調査範囲を拡大して位置を記録する。

<とりまとめ・評価方法>

- ・四季（4・6・8・10月）分をとりまとめ、確認種リストを整理し、全種標本を作製する。
- ・希少種については、の範囲において確認位置及び株数を記録し、の生育状況に対する事業の改変割合を算出し、評価する。

4.勝浦川及びその周辺における今後の調査方針（魚類・底生生物）

平成27年度の調査内容（魚類・底生生物）

<調査目的>

・勝浦川渡河部周辺の魚類・底生生物の生息状況の把握を目的とする。

<調査内容>

・「四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会」における調査内容を参考とし、6月及び10月の大潮の時期に以下の内容の調査を実施する。

<とりまとめ・評価方法>

・調査範囲内における魚類・底生生物相（出現種及び頻度等）を整理し、影響要素を検討する。
 ・地形変動解析による橋脚設置に伴う影響範囲と上記結果の重ね合わせを行い、影響を受ける範囲及び内容（環境・生物種）について定量的・定性的に評価する。

①潮下帯生物調査（河口部10地点）

・採泥器を用いて底質を採取し、河口域における底質分布及び底生生物（マクロベントス）の現況を把握する。



②潮間帯生物調査（干潟域3地点）

・鋼製枠を干潟に差込み、砂の中の甲殻類を採取するとともに巣穴の計測を行い、干潟の生息動物（カニ等の甲殻類）の現況を把握する。



③付着生物調査（右左岸2地点）

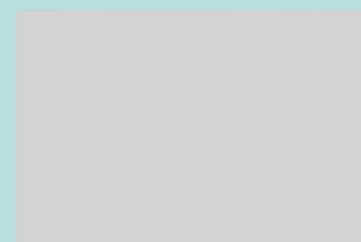
・ベルトトランセクト（目視観察）及び定量採取（坪刈り）を行い、岩礁部及び既設護岸における付着生物（動植物）の現況を把握する。



④遊泳生物調査

（サーフネット:干潟域2地点 / 刺網:河口部1側線）

・サーフネット、刺網を用いて、干潟や河口部に生息する魚類相を把握する。



・6月調査結果及び委員意見並びに概略地形変化解析結果を踏まえて、10月調査より以下の調査を追加実施する。

⑤追加調査

- ・サーフネットの調査地点を砂州の付近で3地点追加
- ・入り江部の潮間帯で高低差（上・中・下）に応じた定量調査
- ・上流の潮間帯での目視調査及び右岸部での任意の目視調査
- ・地形変化解析結果を踏まえ、潮下帯生物調査の地点を追加